

新山協ニュース

△ 発行者 平田大六 △ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

春山講習会報告

秀峰山岳会
小林由夫
山田和栄

県山協の平成5年度最後に当る行事、春山講習会、前年までは冬山講習会として2月に行なわれていましたが、今年には中越地区担当で秀峰山岳会が主管することになり、担当会の都合により3月実施となった為、春山に入る時期でもあり名称を春山講習会と替えさせていただきます。
3月12日(土)午後5時から受付で、下田村八木前村営自然教育センター集合宿泊、13日午前6時出発、粟ヶ岳薬師周辺で春山登山の為の技術講習という内容で行なわれました。

12日の夜は、ひさしぶりに下田の山に集まっていたので笠堀の「熊取りの話」を18時から19時まで笠堀在住の熊倉繁次さんから聞かせていただき、その後熊倉さんと共に夕食懇親会に移りました。熊倉さんと秀峰山岳会は会創立当初よりの付き合いで、残雪期に下田の山々に入る時は必ず熊倉さんから今年の雪の状態、どこかの雪だんが渡れるかなど聞いて入山し、笠堀ダムが出来る前、会の大先輩達はマス取りの方法なども教えてもらった。
昔の笠堀の熊取りの方法や儀式を知っている人も少なくなり、その長老の一人でこの際ぜひ短かい時間ではありませんが、集まった皆さんに聞いてほしいとお願ひしました。話の内容あらためて県山協ニュースで紹介することで省略させていただきます。

12日午後2時より同じ会場で理事会も行なわれたこともあり、夜は50人近い人達が集まっていたதாகありがとうございました。
13日各自朝食をすませ6時宿舎を出発、粟ヶ岳薬師まで登る。今年も雪は少な目で暖かい日が続き、昨日の雨が夜中より雪となり、雪はやわらかく先頭数人は麓からワカンを着用。小休止やラッセルを

交替しながら粟薬師に9時到着。朝降っていた雪はやんできた。すぐ主任講師今成さんより4班からなる班編成が指示され(各班6-7名)各班のリーダーの指示する場所に移動、講習に入る。
今回各班のリーダー講師は、指導の勉強も兼ねて地区指導員、最近2種を修得した人を当て、その補佐に2種、1種の人が当ることになりました。このリーダー講師には事前は何んの打合せ連絡もなく、現地で主任今成さんより指名されました(担当秀峰の小林と今成との間では打合せ済)。講習内容は各班ごと多少の違いはあると思いますが、これから春山に入ることを想定し、歩行(ワカン)、ピッケルの扱い方、ザイルワーク、滑落停止など短かい時間ではあったが練習し、11時30分頃終了下山しました。途中又雪が降って来ましたが、さほど苦もなく午後1時に自然教育センターへ到着。熱いトン汁で昼食、無事閉講致しました。そしてセンター特別サービステキ希望者は入浴しそれぞれ帰路に着きました。

最後に今回担当した責任者の立場としてひと言、県山協加盟団体の皆さんにお願い致します。今後も種々の県山協等の行事が多くあると思います。その際の参加申し込に關しては、出来るだけ期限までに連絡してほしいと思います。これは借用する施設への書類提出にも関係しますのでご協力をお願い致します。
今回の場合は2月末のメ切までに連絡のあったのは15名でした。(10日前位に借用届書を出してほしいというこのため)しかし、3月に入って間近かになって多くの連絡があった。多くの方から参加いただくのは担当側としてはありがたいのですが、借用する施設によっては困る場合もあるかと思ひますし、色々準備する面においても苦労することと思ひます。今後も種々の県山協の行事があると思ひます。その際には出来るだけメ切期限までには何んらかの連絡をするようにご努力願ひすることをご協力ながら県山協加盟の皆様にお願ひし、平成5年度の春山講習会の報告とさせていただきます。

第7回東北地区海外登山研究会 本県にて開催される

海外登山委員会

田中純夫

平成5年11月20日、21日の両日、標記研究会が黒川村胎内で、胎内パークホテルを会場として開催された。この研究会は、東北地区の各県岳連(協会)の海外登山委員会の横のつながりの中で企画・運営してきているもので、毎年2月、恒例で開催されている

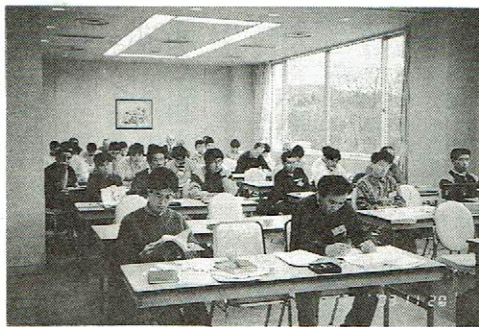
その二 チョー・オウ
(チベット) 95年
チベット側西稜より800m峰の登頂を目指す。
秋田より
(秋田県海外登山研究会)

日山協海外登山技術研究会(八王子)の地方版と言えるものである。7回を数えるに至ったこの研究会でも、数年前よりこの研究会の中から海外遠征登山隊を出したいものという意見が出てきており、今回はその具体的な計画が発表された。

その一 ルンボ・ガンリ
(チベット) 94年
残された数少ない7000mの未登峰。
宮城・岩手より
宮城県山岳連盟
岩手県山岳協会
日本ヒマラヤ協会

二、各県登山隊報告
○山形県 コクセル峰
(6705m) 初登頂。
(山形大学コーポルト会)
○秋田県 ミニヤ・コンカ
峰(7556m)
(日本ヒマラヤ協会)
○夕食および懇親会
清酒の差し入れが多数あった。(小林副会長、平田理事長、外丸氏、山森氏その他各県のみなさんより多数。)

三、各県登山隊報告
○山形県 コクセル峰
(6705m) 初登頂。
(山形大学コーポルト会)
○秋田県 ミニヤ・コンカ
峰(7556m)
(日本ヒマラヤ協会)
○夕食および懇親会
清酒の差し入れが多数あった。(小林副会長、平田理事長、外丸氏、山森氏その他各県のみなさんより多数。)



四、次回開催地の決定
次回は山形県ということになった。
以上のような内容であったが、結果的には時間が足りず、完全消化できないようなことになってしまった。

三、各県登山隊報告
○福島県 サトバント峰
(7075m)、カルジヤン峰
(日本ヒマラヤ協会)
○新潟県 メラ・ピーク
(6476m)
(新潟県高体連登山部)
他にも予定されたものがあつたが、時間の都合で割愛した。
四、次回開催地の決定
次回は山形県ということになった。
以上のような内容であったが、結果的には時間が足りず、完全消化できないようなことになってしまった。

新潟楽山会の紹介

昭和51年7月新潟日報社の主催で「東京おいらく山岳会」として発足したものです。以来18年を経過しましたが、その間中高年登山者の増加とともに現在の会員数は630名に達しております。会のモツ

この研究会は各県持ちまわりで毎年開催されて行くわけだが、本県内においても、海外登山経験者、予定者、あるいは海外登山に関心のある者が構成する研究会も、相互の交流、情報交換ということから必要かと感じた次第である。これは海外登山委員会の今後の課題としたい。
おわりに本研究会の開催にあたって御協力いただいた各位に厚くお礼申し上げたい。なお本研究会は次のスタッフで運営した。
海外登山委員長 藤井 洋
(悠峰山の会)
海外委員 東樹義夫
(燕山岳会)
加藤いずみ(九期山の会)
田中純夫(悠峰山の会)
以上

「楽しい山行、人とのふれあい」です。また、楽山会は「山のOBの会」として40歳以上の中高年者を対象としており、しかも女性などが過半数を占めるなど一般の山岳会とはかなり趣を異にしておりますので、技術指導や山岳関連知識の習得、安全意識の啓蒙など事故防止に關して特別な配慮が要求されま

す。山行活動については、会の計画山行は例年130から150コースを予定しておりますが、もっぱら尾根歩きの中心で、その行動範囲は北海道から九州まで全国に及んで

平成6年度 専門委員会事業実施計画 (アクションプラン)

新潟県山岳協会

専門委員会	実施期間	事業名・会議名	会場	参加出席数	担当者	備考
総務	6. 4. 10	評議委員会・理事会	新発田市カルチャーセンター	50	総務委員会	理 10時～ 評 13時～ 国体予選の後
	6. 5. 1	理事会 (国体選手選考会他)		30	総務委員会	
	6. 9. 4	理事会 (前後半の行事確認等) 北信越5県連絡協議会		30 10	総務委員会 室賀輝男	担当は新潟県国体委員会と相談 新年会の前
	7. 1. 22 日	理事会 (事業計画等検討)		30	総務委員会	
	7. 1. 22 日	新年会	新潟市イタリア軒	80	小林兼一郎	
	7. 3. 11 土	理事会 (評議委員会に関する事項)		30	総務委員会	春山講習会の前
	6. 4~7	遭難防止啓蒙活動	山開きの地元山岳会に依頼	30	遭難対策委員会	遭難防止チラシ 3,000枚
遭難対策	6. 6. 11~12	青少年安全登山リーダー研修会	新発田市		遭難対策委員会	指導委員会と協力、 ジュニアの育成
	6. 7. 13~14	全国山岳遭難対策協議会 遭難救助講習会	岩手県 未定		遭難対策委員会 遭難対策委員会	
	7. 1. 21	新潟県遭難対策会議	新潟県庁		遭難対策委員会	
指導	6. 6. 4	日山協指導委員会総会	東京渋谷 岸記念体育館	1	今成幸夫	
	6. 6. 18~19	登山技術講習会・岩登り	新発田市杉滝岩	50	阿部信一 田中栄弘	
	6. 10月末か 11月初め	C級補講、B級指導員移行講習会	新潟市			
	6. 11. 20	指導員研修会	新潟市	60	三富一弥	
7. 3. 11~12	春山講習会 ススキーも兼ねて	新発田市仁王子岳	50	安野正弘		
国体	6. 4. 2	日山協国体委員会総会	東京渋谷 岸記念体育館	1	山田智子	
	6. 4. 30~5. 1	第49回国体新潟県予選会 兼新潟県体育大会	柿崎町米山山麓	100	国体委員会	
	6. 5. ~7. 28	合宿 北信越	石川県尾口村白峰村		国体委員会	
	6. 5. 21~22	北信越5県代表者会議	石川県尾口村予定	5	国体委員会	
	6. 5. ~10. 27	合宿 愛知	愛知県鳳来町東栄町		国体委員会	
	6. 7. 29~31	第15回北信越国体	石川県尾口村白峰村	30	国体委員会	+設楽村 役3、審3、選監16 補応未定
	6. 9.	第49回国体 監督会議	新潟県庁	4	監督	
	6. 9.	競技水準向上ヒアリング	新潟県庁	1	森庄一	
	6. 10.	第49回国体 結団式	新潟県庁	25	委員・監督・選手	
	6. 10. 28~11. 2	第49回国体 (わかしゃち国体)	愛知県		国体委員会選手団	
	6. 12.	第49回国体 反省会	国体協主催 未定	5	国体委員会	
	6. 12.	第49回国体 解散式	国体協主催 未定		国体委員会	
	6. 12. 10~11	新潟県コーチサミット	県主催		国体委員会	
	7. 1. 21	県体育協会新年会	新潟市	3~4	国体委員会	
7. 3.	競技力強化研究協議会	県主催		国体委員会		
7. 2月か3月	北信越審判員研修会	富山県		指導委員会		
海外登山	6. 6	日山協海外委員会総会 及び遭難対策研究会		1	田中純夫	
	6. 7. 26~8. 15	中国青海国際高校登山交流大会	中国青海省野牛山		藤井 信	野牛山 4898. 3m
	6. 7. 28~8. 21	中国への遠征	検討中	7	阿部信一 田中純夫	
	6. 11. 7. 2. 18~19	東北地区海外登山研究会 日山協海外登山技術研究会	山形県 東京八王子市「大学 セミナーハウス」	1	東樹義夫	
自然保護	6. 5. 21~22	第18回自然保護指導員研修会	弥彦・角田 (植物)	30	桑原悌治	
	6. 9. 24~25	日山協全国自然保護指導員総会	静岡県			
	6. 10. 22~23	第19回自然保護指導員研修会	五頭山 (鳥類)	30	桑原悌治	
		日本山岳会自然保護指導員総会 県内の山の廃尿処理の研究会	未定			
婦人		親睦登山	未定	30~40	山田智子	県外へ
会報編集	毎月1回	新山協ニュース第86~97号	5日原稿締切 20日発行		杉本 敏	発行部数 400
中高年登山	6. 9. 19~20	文部省・日山協 中高年安全登山講習会	長野県	2	中高年登山委員会	県教委より1名
	6. 9. 10~11	第4回県山協登山教室	妙高山・赤倉温泉 燕登山道・新道	般92 役25	中高年登山委員会	希望予算30,000

おります。

ただ山の会としては異例の人数ですので、山行活動においては安全の確保を最重点におき同時に極力他の登山者迷惑をかけないよう心掛けておりますが、それにも限界があります。山を利用するだけでは申し訳ないということで、数年前から「山への還元活動」を展開しています。何分年齢的なハンデがありますので

国上山自動車道路

開発計画について

分水山岳会 山田 一 男

ふきのとうが咲き揃う頃、マンサクも枝いっぱい花を開いている。国上山の遊歩道、稚児道を歩く。沢の石を持ち上げてみる。サワガニが数匹の生まれたばかりの子ガニを抱えて、アワブクを吹いている。ソツと石を元に返してやる。春を待つ小さな生命の息吹が感じられる。

木林に潜り込んでゆく。ここ稚児道は雪割草やカタクリの群落、イチリンソウ、コシノカンアオイ、イチヤクソウ、ヒトリシズカなど豊かな自然に恵まれたところである。町では林産振興のため林道を計画中です。やがては観光道路になってしまおう。

林業の新しい担い手も、林産物生産高もゼロに等しいと聞きます。これらは、あきらかに地域産業振興に名を借りた自然破壊のなにもでもありません。

やや南限といわれる、トオホクサンショウウオなどの貴重な生物の絶滅や生態系にも影響を及ぼすことでしよう。国上寺から弥彦神社へ稚児が通ったという、歴史的文化遺産の遊歩道を車道が寸断するとう、本当に心が痛みます。ハイキングの子供達への交通事故、空き缶・タバコのポイ捨て、火災の心配、弥彦佐渡米山国定公園の雪割草等の保全地域です。行政ならどんな計画や実施でも出来得るのでしょいか。車社会とは申せ国上のような、やさしい標高の低い山、それこそ町の宝である。人間本来の足で歩いてこそ意義がありましよう。しかもこれから余暇が増すというのに。大切な自然は一度破壊したら決して元に戻らない。将来の子や孫たちにも身近で四季折々の国上山の美しい自然を残してやりたいと思います。

この道をいつも歩くとき、雑念を振り切った時間の楽しさや、自然の豊かさを肌で感じるのである。弥彦村では黒滝古城跡を開発しているとのこと。そちらへの変更する遊歩道を蛇崩から

他の山岳会並という訳にはま

いりませんが、可能な範囲で

山道の刈払いや道標の整備ま

たは常時清掃登山などに心掛

けております。もし私共でお

手伝い出来ることがあります。

たらどうぞ声を掛けて下さい。

今後県山協の一員として

努力しよう努力し

ていきたいと考えております。

宜しくお願いします。

(木下 力)

先へ延長してもらいたいと思

います。

紹介 ①

新潟楽山会の

会報紹介

新潟楽山会(会長 木下力)

では、会報「楽山」18号を発

行された。A5版144頁で

ある。

内容は、山行記、随想、短

歌・俳句・川柳、この人に聞

く、のコーナーに分かれてい

る。

新潟楽山会には会員が多いこ

ともあるが、山行報告の多さ

と、投稿者の多いことが会報

の内容を充実させている。

編集委員の校正の努力もあ

り読まれる会報にしてある。

中国

青海南山

報告書完成

平成4年、中国青海省登山

協会と新潟県登山協会が兄弟

山岳協会の締結をした。記念

事業として平成5年夏、県内

高校生8名、引率スタッフ5

登山用品専門店

信頼できるパートナー

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736